

第7回 学術集会のご案内

『みんなで共有しよう！ケアの実際』

今回の事例発表では、「みんなで共有しよう！ケアの実際」をテーマに、日々の現場での工夫や取り組みを発表し合います。実際のケアを通じて得られた経験や課題を共有することで、明日からの実践に役立つヒントをみんなで学び合いましょう。

日時：2025年11月15日(土) 13:00～17:00 (12:30～受付)

- ・対象：訪問看護ステーション従事者、看護職および教育機関、看護学生 等
- ・会場：大阪府看護協会ナースングアート大阪 3F レモンホール(大阪市城東区鳴野西2-5-25)
- ・定員：300名
- ・参加費：会 員4,400円/事業所 **※学生無料**
非会員5,500円/名
- ・申込方法：当協会HPより <https://daihoukan.or.jp>
- ・申込締切：10月31日(金) **※研修記号【701】参加費振込時に入力必要**



コメンテーター：大阪公立大学 看護学部 地域包括ケア科学分野

教授 河野あゆみ先生

事例発表(発表順)

【第1部 13:00～】

- 1.アルツハイマー型認知症療養者への作業療法によりBPSDが改善した症例
- 2.訪問回数に制限のある慢性心不全患者の在宅看取りができた一事例
～SNSを使用した多職種連携による支援～
- 3.COPD末期患者の在宅看取りを支えたロードマップの作成とその意義
- 4.尖足が著明で外出が困難となった自閉スペクトラム症児への支援
～車椅子を使用した移動手段の獲得と多職種で支えるつながり～
- 5.独居で在宅看取りとなった終末期利用者に対する支援
～家族との信頼関係構築により在宅看取りが実現した一例について～
- 6.転倒を繰り返す進行性疾患を持つ患者の行動変容を促す関わり

-休憩-

【第2部 15:00～】

- 7.終末期におけるがん患者のレジリエンス獲得のプロセス
～卵巣がんの終末期患者への看護援助を振り返って～
- 8.家族と共にその人らしく「生きる」を支えた支援～人生最期の迎え方～
- 9.あきらめかけた重度褥瘡が治った！
～専門性の高い看護師の助言を受けての実践報告～
- 10.ポータブルエコーを用いての心不全管理の検証
～ポータブルエコーを活用するために～
- 11.共生社会の実現を目指した認知症カフェ
- 12.重症足病変のある在宅療養者に対するフットケアの治療効果と
多職種連携の重要性に関する一考察

リニエ訪問看護ステーション岸和田(泉南)
ベルシャンテ訪問看護ステーション(堺)
訪問看護ステーションすずらん(市北)
河内医師会訪問看護ステーション(中河内)
N-art訪問看護ステーション(堺)
よどきり訪問看護ステーション(市北)

あるふぁ訪問看護ステーション(堺)
南港病院訪問看護ステーション(市南)
耳原訪問看護ステーション(堺)
協和訪問看護ステーション千里中央センター(豊能)
牧訪問看護ステーション(市北)
リニエ訪問看護ステーション岸和田(泉南)

……問い合わせ……

一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 事務局

〒542-0012 大阪市中央区谷町6-4-8 新空堀ビル205号

TEL : 06-6767-3800 / FAX : 06-6767-3801 E-mail: ohk.st-kyokai@tiara.ocn.ne.jp